

地域密着型特別養護老人ホームわかば
令和6年度 第2回 運営推進会議

開催日時		令和6年6月26日(水)	午前11時～午前11時50分
開催場所		特別養護老人ホームわかば 1階 会議・研修室	
サービス区分		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（10）名／出席（10）名	
		（ご利用者代表）	（ご家族代表）
		（地域住民の代表）	（市町村職員）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
	職員（役職）	（中央包括支援センター職員）	
		（特養わかばイースト施設長）	
		（特養わかば生活相談員）	
報告事項		出席者紹介 ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換	

次第

出席者：別添資料（スライド⑭）に構成メンバーを記載。

開催にあたり、本県も梅雨入りとなり、高温多湿の気候となることで体力消耗が一層増すことが予想されます。参加の皆様にはしっかり栄養を摂り、十分な休息をとることを心掛けていただきたいとお願い申し上げます。

● 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

今期4～5月の稼働推移についての報告。4月度は満床稼働となり5月度は看取り対応のお客様の退所があり入退所にかかる空床が5日間発生、実績894件となる99.4%。

- 男女別稼働件数推移、ユニット別稼働件数推移
- 要介護度別利用者数推移

毎月末時点では29名の利用となり、令和6年5月末時点における要介護別利用者は以下の通り。

要介護5認定者 8名(27.6%)

要介護4認定者 15名(51.7%)

要介護3認定者 6名(20.7%)

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均は4.1(女性：4.1、男性：4.0)前回報告同様。

年代構成は60歳代× 1人

80歳代×10人

90歳代×18人

● サービスの質の向上にかかる事項

3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（14名中11名＝78.6％）。サービス提供体制加算（II）の要件を維持。介護職員における無資格従事者は0人。

4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- 嘱託医の往診2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- 理美容サービス…1回／月（月1回の訪問では希望のお客様への支援が足りず、不定期で日程を設けている）。
- セブンミール…2回／月（第2・第4木曜日）開催。
- わかば栄養サポートチーム…毎月1回開催。

食品ロスの取り組みとして、お客様の摂取量に応じた適正量の提供により残食ロスの低減に努める。

● 行事等

3ヶ月ごとの職員個人面談を4月17～25日、実施済み

社協ボランティアのミュージックケア慰問は5月22日、開演

5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告。

- ユニットケアについての勉強会（4月9日、実施済み）
- 業務継続計画（BCP）についての勉強会（4月9日、実施済み）
- 事故発生又は再発防止に関する研修(1)（5月7日、実施済み）
- 避難訓練（夜間想定訓練）／緊急時の対応に関する研修（5月7日、実施済み）

6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑫）

- 通期として、事故報告13件、ヒヤリハット報告10件。「転倒・転落」として報告が挙がる内、安全対策委員会による内容精査において「外傷」と判断される事案も。報告作成時の区分を正確に把握する必要がある。

● 参加者からの意見・ご提案等について、

（ご家族様）

- 本人は面会のたび、表情もよく楽しんでいる様子がある。

（地域代表）

- 避暑対策としての公民館の開放について、誰が管理していくのかが課題。解放し活用することについては良いことだが、防犯的にも管理することを考えると即答はできない。偏った人のみに頼むこともできない。

いろんな角度から住民の皆さんの意見をお聞きし、地域づくりに反映出来たら地域に喜んでいただける施設になると考えます。

(第三者委員)

- 所有している自家用車のブレーキランプが切れて点灯していないことがあった。施設の送迎車両は当然看板を背負っている車であり、整備不良などないように運行前・後の点検をぜひともしっかりとやっていただきたい。

運行前の車両外周の確認と運行距離数の運行管理簿は整備し活用している。方向指示器やヘッドライトなどの点灯なども確認できるようにしたい。

(知見を有する者)

- 所用で外出する際、施設送迎車両が結構な速度で運行していることをよく見かける。地域の評判にもつながってくるので注意してほしいと思う。

(市町村職員)

- 梅雨時期となり食中毒のリスクも高くなっていると予想される。他の事業所の運営会議等にも参加しているが、事故報告などしっかりと報告できる仕組みは良いと思っている。挙がってきた報告は内容をしっかりと検証し次につながるようお願いしたい。
- 一般介護予防について、7月の広報誌に掲載。周りの方にも周知をお願いしたい。

(中央地域包括)

- 担当エリアが施設周辺となる。地域の意見や要望等なども施設と協議しながら地域の皆さんのお役立ちするように活動したい。

(生活相談員)

- 見守り支援機器の導入について、通知のタイム差があり、業者の現地確認を実施。特に転倒・転落の危険性が高い方の事故防止やヒヤリハットに活かしていきたい。

(今野施設長)

- 食中毒の話もあったが、感染症もクラスター発生はないが、職員家族の感染などまだあるのが実情。勉強会など意識の啓発をしっかりとやっていきたい。

その他

定期（1回／月）発行わかば会通信を参考資料として添付。

次回の開催予定月は偶数月の8月度の開催として調整。